【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年7月31日(2024.7.31)

【国際公開番号】WO2024/042676
【出願番号】特願2023-506268(P2023-506268)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｋ　1/14(2021.01)
Ｇ０１Ｋ　1/16(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｋ　1/14　　Ｅ
Ｇ０１Ｋ　1/16

【手続補正書】
【提出日】令和5年1月30日(2023.1.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
測定対象物の温度を検知する感熱体と、前記感熱体を内部に収容する保護体と、を有するセンサ素子と、
前記保護体を保持するとともに、前記測定対象物に向けて前記保護体に弾性力を加える弾性ブラケットと、を備え、
前記弾性ブラケットは、
第１面と前記第１面のうら側の第２面とを有し、前記保護体を前記第１面において固定により保持する第１ばね片と、
前記第１ばね片の前記第２面に対向する第２ばね片と、
前記第１ばね片と前記第２ばね片との接続片と、
を備えることを特徴とする温度センサ。
【請求項２】
前記第１ばね片は、前記感熱体を避けて前記保護体を固定により保持する、
請求項１に記載の温度センサ。
【請求項３】
前記第１ばね片は、一端と他端とを備え、前記一端において前記接続片と接続され、かつ、前記一端よりも前記他端寄りの位置において前記保護体を固定する、
請求項１に記載の温度センサ。
【請求項４】
前記保護体は、
前記第１ばね片に一体的に形成される保持片により固定される、
請求項２または請求項３に記載の温度センサ。
【請求項５】
前記保護体は、一端と他端を備え、
前記保持片は、前記保護体の前記一端の側を固定する、
請求項４に記載の温度センサ。
【請求項６】
前記保護体は、
前記保持片により固定される、前記一端の側に設けられる保持部と、

前記感熱体が封止される感熱部と、を備え、
前記保持部は、前記感熱部よりも肉厚が薄い、
請求項５に記載の温度センサ。
【請求項７】
前記保護体は前記第１面に接して保持され、
前記第１面を基準にして、前記保持部を保持している前記保持片よりも、前記感熱部の背が高い、
請求項６に記載の温度センサ。
【請求項８】
前記保護体は、
前記保持片により固定される保持部と、
前記感熱体が封止される感熱部と、を備え、
前記感熱部は、
前記測定対象物に面で接触する平坦な感熱面と、
前記感熱面と平行に対向、かつ平坦な前記第１ばね片２３Ａに面で支持される支持面と、を備える、
請求項４に記載の温度センサ。
【請求項９】
測定対象物と、前記測定対象物に対向する支持体と、前記測定対象物と前記支持体との間に装着される温度センサと、を備え、
前記温度センサは、
前記測定対象物の温度を検知する感熱体と、前記感熱体を内部に収容する保護体と、を有するセンサ素子と、
前記保護体を保持するとともに前記測定対象物に向けて前記保護体に弾性力を加える弾性ブラケットと、を備え、
前記弾性ブラケットは、
第１面と前記第１面のうら側の第２面とを有し、前記保護体を前記第１面において固定により保持する第１ばね片と、
前記第１ばね片の前記第２面に対向する第２ばね片と、
前記第１ばね片と前記第２ばね片との接続片と、
を備えることを特徴とする温度測定構造。